

■ 苦しみと罪の関係

ユダヤ人たちの一般的な考えは「病気や障害のような人間の苦しみは、罪の結果である。」ということでした。実際に聖書には、罪を犯したことが原因となって、病になるケースもあります。

しかし、旧約聖書は、「すべての苦しみが罪の結果である。」とは教えていません。病弱な人間の体、突然の事故などの人間の不完全さによっても、人は病気や障害を経験したり、失敗を経験したりするのです。イエス様も苦しみと罪の関係が必然的なものではないと言われました。

■ メッセージのポイント

(1) 弟子たちの質問—この人が盲目で生まれたのは、だれが罪を犯したからですか。

弟子たちは、盲目であるという理由で、その人が不幸な人だと思いました。そして、不幸の中で生まれたのは、誰かの罪のせいだと思いました。

(2) イエス様の答え—罪を犯したからではありません。この人に神のわざが現れるためです。

弟子たちは、人の苦しみを中心に置いて、その理由を求めました。しかし、イエス様は、神の栄光を中心に置いて、その意味を解き明かしたのです。

(3) イエス様の癒し—イエス様は彼に近づき、彼をシロアムの池に行かせました。

彼は、イエス様のことばに従い、癒しというプレゼントを受けました。そして、イエス・キリストにあってまったく新しい人になったのです。